



## 県議選 議席確保ならず！

### お疲れ様でした！

四月九日深夜、小野候補の敗戦が決まった瞬間、悔しい思いと、昨年十一月九日の総合選対結成以来、日夜ご奮闘いただいた黨員、家族そして支援していただいた皆さんに、事務局をあくかつた者として大変申し訳なく思いました。

県連合の組織・財政で県議選を戦うことができるのか、事務局で再三協議し、とても戦うことはできない結論に達しました。

しかし、一昨年の総選挙、昨年の参議選の活動を通じて、社民党をなんとしても継続・発展させたい思いで、大分市選挙区から立候補したいと決意した小野よしみさんの申し出を、県連合・大分支部は受け止め戦うこととしました。勿論、厳しい選挙になることは覚悟していました。

選挙結果を見てみると次点候補が7492票（前回の最下位当選が6500票）と、小野候補が4844票ですから数字の上からする



と完敗と言わざるを得ませんがこの間、極めて短時間でしなければならぬ公営掲示板のポスター張り、ビラの証紙貼付の作業を混乱無く成し遂げ、活動に参加された皆さんに感謝の言葉もあります。

課題も見えてきました。合流後の黨員の減少と高齢化は如何ともしがたく、活動に参加した黨員に過重負担がかかる。そして何よりも「社民党の見える化」の日常活動の不足と言わざるを得ません。選挙は地盤・カバン・看板と言われ、カバンはともかく地盤はあるに超したことはないと感じしました。



また、ネット選挙が言われ、黨員の高齢化の現実の中で進んでいません。今後どのようにに発達力の強化に向けた体制を整えるかも重要な課題です。



### 次なる闘いの準備を！

今回の統一地方選結果に自民党県連はパーフェクトと豪語している。大分県も、全国と同じように政権よりに流れが傾きつつあると危惧している！早ければ年内に想

定されている総選挙で、この流れを断ち切り政治の流れを変えることができるのか問われています。我々も次なる闘いの準備を進めることが重要であると思えます。

県連合幹事長 馬場 徳明

### ご支援ありがとうございます

ございました

去る四月九日、投票票の大分県議会議員選挙におきまして大変お世話になりました。そして最後までのご支援ありがとうございました。

心より厚く御礼申し上げます。結果は大変厳しいことになりましたが、半年余りでの活動の全力で戦っていただいたことに重ねて感謝いたします。

結果はしっかりと受け止め、見えてきた課題「若い人たちに社民党の良さ正しさをいかに伝えていくか」を、今後の活動の糧としてさらに精進して参ります。

小野 よしみ



## 第94回メーデー大分県中央大会

スローガシ  
支え合い・助け合う社会を作り、暮らしをまもる！  
笑顔あふれる未来をめざし力を合わせ、ともに進もう！



四年ぶり開催されたメーデーはあいにくの雨でした。皆さんご承知のように一八八年五月一日、米国の労働者が「八時間は労働に八時間は休息に、八時間は自由な時間のために」求めてストライキに立ち上ったのが起源とされています。

若い頃のメーデーは、何をテーマにするか考え、一週間くらい前から勤務終了後、郵便局の中庭で大城棟梁（局長で役員）の指示で街宣車のデコ

は年休を取り、各単組の飾り付けられた街宣車を先頭に、大手公園から駅前までデモ行進、これが当たり前のメーデーでした。「あの頃が懐かし良かった」と回顧するのは年を重ねた証しかもしれませぬ。

先の参議補選で野党統一候補が僅差で敗れた。マスコミは労働組合の力量低下を指摘している。最も労働者の多い大分市の投票率三十三%が如実に物語っている。労働組合の奮起に期待するものです。

